

# 総務大臣賞 ～「大いなる田舎 までいライフ いいたて」を目指して～

福島県

飯舘村  
イイタテムラ



第5次総合計画の検討状況。地区別計画の評価を行い、新たな10年ビジョンを全行政区において策定している。



各地区で伝統芸能の継承・保存事業に取り組み、若い世代に引き継がれた。写真は「田植え踊り」のもよう。



環境美化の取組みの一環としてリサイクルセンターを整備し、資源回収の益金でお年寄りの元気につなげている。

## ●事例の概要

○第4次総合振興計画では基本理念として「クオリティー・ライフ」を掲げ、飯舘村だからこそ実現できる”豊かさ”暮らしの質を高めていこうと各種施策を展開した。

○この「クオリティー・ライフ」を地域から実践していくため、村内20行政区すべてで「地区別計画」を策定した。

○第5次総合振興計画では、このクオリティー・ライフの理念を継承し、さらに具体的に示す考え方として「までいライフ（飯舘流スローライフ）」を基本理念に据え、地域の自主自立を進めるべく、生活の視点からの村づくりに取り組んでいる。

※「までい」…地元の方言で「丁寧に」「じっくりと」の意味。



○評価のポイント

昭和59年、第3次総合計画の制定に策定段階から働き盛りの住民を参画させる住民参加の手法を取り入れたことをきっかけとして、地域住民に自主自立の気運が生まれた。この気運を継続させ、“地域づくりの住民参加”から“村づくりへの参加”へとつなげるべく、第4次総合振興計画（平成7年度～平成16年度）では総合計画の中に20行政区の計画を謳う「地区別計画」の策定に取り組んだ。

この地区別計画は、「クオリティー・ライフ」（飯館村だからこそ実現できる“豊かさ”暮らしの質を高めていこうとするもの）を地域から実践すべく策定するもので、10年間の目標設定と継続した財源の担保により地域づくりの継続性を生み出し、地域づくりを担う人材の育成につながった。

地区別計画は地域において、新農村楽園事業として具体的に進められており、ふるさと創生資金と地方交付税で算定されている地域づくり費用分をすべて基金として積み立てた「農村楽

園基金」を財源として、行政区の代表者で構成される地区計画協議会で助成が決定される（1行政区あたりの助成額は10年間で一律1,000万円）。またこれら事業の推進のため、行政と行政区のパイプ役として役場職員を貼り付ける「コミュニティ担当者制度」を設け、地域づくりの本質について“気づき”の感性を養なおうとしている。

第5次総合振興計画（平成17年度～平成26年度）においてもクオリティー・ライフの理念を継承し、さらに具体的に示す考え方として「まていライフ（飯館流スローライフ）」を基本理念に据え、地域の自主自立を進めるべく、生活の視点からの村づくりに取り組んでいる。

このように行政区という強固な地域コミュニティをベースとした独自の地域づくりスタイルは、地域の長期ビジョンを財政面で担保し、各地域の活力を喚起している取組みとして評価された。

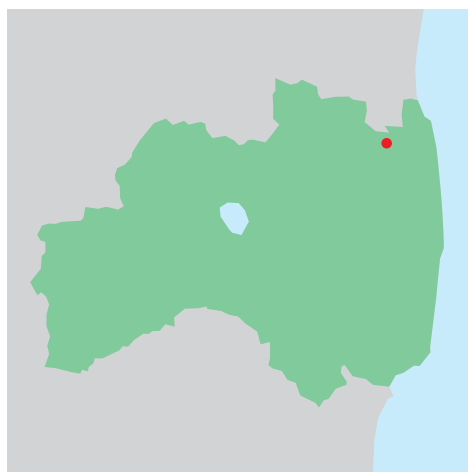


地区の子どもたちを対象に地域の自然を学ばせるイベントを開催した。



地域内の道路の支障木や側溝の土砂上げを地域自らが担う「道普請事業」。事業コストの削減、住民の道路愛護にもつながっている。

イタテムラ  
福島県 飯館村



国勢調査人口

昭和35年	昭和45年	平成2年	平成7年	平成12年
11,129	9,385	7,920	7,586	7,093

人口増減率

H12/S35	H12/S45	H7/H2	H12/H7
△36.3	△24.4	△4.2	△6.5

高齢者・若年者比率(12年)

高齢者比率	若年者比率
25.2	15.0

交通のご案内

**自動車** 東北自動車道福島西ICから  
国道114号経由50分  
**鉄道** JR常磐線原ノ町駅から  
バス40分  
**飛行機** 福島空港から自動車90分

団体連絡先

**名称** 飯館村（いいたてむら）  
**所在地** 〒960-1892 福島県相馬郡飯館村  
伊丹沢字伊丹沢580-1  
**電話番号** TEL (0244) 42-1613  
**URL** <http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>